

研究課題名	肝疾患の課題解決にむけたゲノム情報の活用
研究期間	実施許可日 ～ 2034年 3月 31日
研究の対象	<p>2002年2月以降に広島大学病院消化器内科で慢性肝疾患の治療を受けられ、「慢性肝疾患関連遺伝子研究」に同意された方。</p> <p>2003年以降にバイオバンクジャパンの「オーダーメイド医療実現化プロジェクト」にご協力頂いた慢性肝疾患の方。</p>
研究の目的・方法	<p>研究目的：環境要因と遺伝的素因に応じたC型肝炎排除後発癌予防戦略を開発することです。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータと、先行研究で解析された網羅的遺伝子多型の情報を使用して、C型肝炎が排除された後に特定の併存疾患や生活習慣を有している場合に肝細胞癌を発症しやすい遺伝的素因、または発症しにくい遺伝的素因について解析します。</p> <p>ご参加いただいたヒ M-41（承認番号）「慢性肝疾患関連遺伝子研究」、E2022-0283（承認番号）「慢性肝疾患に関連する遺伝子研究」、バイオバンクジャパンの「オーダーメイド医療実現化プロジェクト」にて解析した網羅的遺伝子多型の情報、および診療録の情報を使用して、解析をします。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：SNP chipの結果（網羅的遺伝子多型情報）、臨床情報（AST、ALT、年齢、性別、<math>\gamma</math>GTP、ALB、ビリルビン、発癌の有無、発癌時期、併存疾患（糖尿病、高血圧、高脂血症）、BMI、飲酒、喫煙の有無）等</p>
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	<p>情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で使用します。個人と連結させるための対応表は、本院および共同研究機関の研究責任者が保管・管理します。</p>
外部への試料・情報の提供	<p>東京大学（バイオバンクジャパン）と当学で上記情報の共有を致します。共有にはセキュリティの強固なクラウドを利用します。</p>
研究組織	<p>本学の研究責任者          広島大学病院肝疾患センター 教授 柘植 雅貴          機関の長          広島大学理事 田中 純子</p>

	<p>研究代表者          広島大学病院肝疾患センター 教授 柘植 雅貴</p> <p>共同研究機関          東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 松田 浩一</p>
その他	特記無し
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 消化器内科          担当者：講師 大野敦司          〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3          電話番号：082-257-5191</p>